

## 事業者温室効果ガス削減計画書概要(第1計画期間)

## 1 事業所の概要

事業者の名称	JFEスチール株式会社		
事業所の名称	棒線事業部仙台製造所		
事業所の所在地	宮城県仙台市宮城野区港一丁目6番1号		
主たる事業	鉄鋼業		
事業者の該当要件	○	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
		条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	グループのCO <sub>2</sub> 排出量の大部分を占める鉄鋼事業において、2030年度のCO <sub>2</sub> 排出量を2013年度比で20%以上削減することを目指します。また、日本鉄鋼連盟の低炭素社会実行計画には、これまで同様、主体的に参画していきます。個社として可能な限りのCO <sub>2</sub> 排出削減を実現するため、新たにJFEスチール社長直轄のプロジェクトチームを立ち上げ、CO <sub>2</sub> 排出削減に関する諸課題への対策・方針を策定し、既存技術や革新的技術等を最大限に活用した実現可能なCO <sub>2</sub> 削減シナリオを検討していきます。		

## 2 温室効果ガスの削減目標等

温室効果ガスの排出状況及び削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	418,298 t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	657.6
	目標年度	2022 年度	目標排出量	410,876 t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	622.3
			削減率	1.77 %	削減率	5.36 %
	目標設定の考え方	生産量増によるCO <sub>2</sub> 増を、操業改善、設備改善により削減し、原単位5%以上の削減を目標とする 1. CO <sub>2</sub> 増要素 生産量3.6%増(15.2千t-CO <sub>2</sub> 増) 2. CO <sub>2</sub> 削減要素 ①電気炉連続稼働によるロス削減 ②電気炉操業状態の見える可 ③高効率バーナーの設置 ④LFの能力アップによる効率改善 等 (22.6千t-CO <sub>2</sub> 削減)				

## 3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施計画	基準年度実施率	52 %	目標年度実施率	97 %
選択対策の実施計画	項目			実施年度
	生産性管理			実施済
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)			実施済
	エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見)			実施済
	工業炉の断熱性能維持管理			実施済
	デマンド管理			実施済
	再生可能エネルギーの導入			第3年度

様式第1号別紙1

その他の対策の実施計画	項目	具体の取り組み内容	実施年度
	環境マネジメントシステムの導入	環境管理に関する管理基準を作成し、これに基づき管理実施、定期的に内部、外部監査を行い有効性の確認を行っている	実施済
	廃棄物削減対策の実施	所内発生 of 廃棄物を、生産工程の中での消費を推進、外部での廃棄量を管理	実施済
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	LFTランス増強による溶鋼加熱コスト低減	実施済
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	コージェネ設置によるエネルギー削減	実施済
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	コンプレッサー圧力、流量監視による運転最適化	実施済
	計画期間以前の温室効果ガスの大幅な削減	BL温度監視による加熱炉直送自動化により、強制冷却材削減	実施済